



日野療護園  
フォーシーズン

東京都  
社会福祉  
事業団



# Four Seasons No.92

2021年6月9日 春号

発行/編集：日野療護園 〒191-0034 日野市落川245-1 Tel 042-593-2421 Fax 042-593-0075 E-mail hinoryo@hinoryo.org HP https://www.jigyodan.org/hino

## にしざわえんちょうあいさつ 西澤園長挨拶

競泳の池江璃花子選手が突然の白血病に倒れたのは2019年。絶頂期の中で東京オリンピックを迎えるはずが一転、先の見えない闘病生活に突入しました。幸いにも懸命な治療とリハビリが功を奏し、翌年には公の場に登場したものの、カメラに映る彼女の姿は明らかにアスリートのそれではありませんでした。しかし、彼女は嘆くことなく、「2024年のパリオリンピックを目指す」と公言。その後、4年後どころか1年余りの短期間で驚異的な回復を遂げた結果、1年延期となった東京オリンピックの代表の座を勝ち取ったのはご存知のことと思います。この池江選手の一連のアプローチは、過去を振り返るのではなく前を見つめて歩み続けることの大切さを示しているようでした。いま我々に求められているのは、現状を受け止めた上で、これから何ができるかを考えることなんだと、二回以上年齢の離れた一人の女性から教えられた気分です。

新年度がスタートしました。厄介なウイルスとの付き合いはもうしばらく続きそうです。それを悲観するでもらっかん楽観するでもなく、今何が起きているのかを冷静に見据え、その中で可能性を追求する組織(チーム)でありたいと思っています。

今年も多くの新規・転入職員を迎え入れることができました。十人十色、様々な個性の集まりですが、共通しているのは池江選手と同様、前を見つめて真摯に利用者支援に臨む姿です。これから紆余曲折、多くの出来事があると思いますが、初心を大切に金メダル級の頑張りを見せてくれることでしょう。

最後に、長期に渡る面会や外出の自粛へのご協力、本当にありがとうございます。引き続き、利用者様の安全・安心を第一に努めてまいります。令和3年もどうぞよろしくお願いいたします。

えんちょうにしざわたくみ  
園長西澤巧





しん じ む しょく あい さつ  
**新グループリーダー・事務職 挨拶**

☆新福祉サービス第1グループリーダー 橋口 まゆ子

4月より福祉サービス第1グループリーダーになりました、橋口まゆ子です。

前年度の3月まで、福祉サービス第1グループでローテーション勤務を7年間行っていました。女性利用者として多く関わってきましたが、男性利用者の皆さんとは食事介助や廊下などですれ違った際に一言二言会話をする程度の関わりなので、分からないことが沢山あると思います。これからは、1グループ全体のことを沢山知って関わっていただけると思いますので、不慣れな点が多いと思いますが、宜しくお願い致します。（記：橋口）

☆新事業推進グループリーダー 石川 達也

今年度、事業推進グループリーダーに任命されました石川です。通所の利用と日中活動の他、カンファレンスや施設入所・退所の手続き、障害福祉サービス受給者証など、手続き関係が主な業務となります。利用者へ直接お会いする機会が急に減ってしまい、先日はある利用者から「園から居なくなっちゃったのかと思ったよ」と言われてしまいました。自立はできませんが、翼方として皆様を支えるべく精進してまいりますので、今後ともよろしくお願い致します。（記：石川）

☆新短期入所担当 児島 知也

今年度より短期入所担当となりました児島と申します。昨年度は第2グループに所属していました。新型コロナウイルス感染症の影響が長引く中ではありますが、当園の短期入所事業がより良いものになるよう努めてまいります。今年度もご利用をお待ちしております。（記：児島）



橋口 まゆ子



石川 達也



児島 知也



新任・新規・転入職員紹介

今年度は管理グループ1名、事業推進グループ1名、福祉サービスグループ9名の計11名の新任転入職員の皆さんを迎えました。感染症対策を万全に行いながら3日間の導入研修を無事終え、現在はそれぞれ園の戦力として頑張ってくれています。また、当園は令和5年に移転建て替えが控えており、今年の新任転任職員が移転後の園で主軸となれるよう、これから大きく成長してくれることを願っています。(記：小澤)



桜の木の underst 下で



～緊張の第一声～

華道クラブ制作

2月にひな祭りをテーマとした制作を行いました。コロナ禍ということもありボランティアさんには離れたお部屋で制作していただき、入居者も距離を保ちながら参加されていました。いつもはボランティアさんが目の前に居て、分からない所はアドバイスしていただくというスタイルでしたが、今回は入居者と事業推進グループの職員がメインとなり実施しました。近くにボランティアさんがいない事もあり細かな調整が必要な時は職員も入居者も試行錯誤で制作にあたっていました。それでも、皆さん一生懸命自分の作品に向き合い、満足のいく作品になったのではないかと思います。また、職員もゆっくりと入居者さんと向き合いお話をすることでコロナ禍という大変な状況の中でもひと時の有意義な時間を共有できたのではないかと思います。(記：田中)



作品完成



ピース!!



満面の笑み





かつどうしょうかい  
活動紹介

3月はひな祭りとホワイトデーがありました。ひな祭りにちなんで、負合わせゲームをしました。紙に「お雛様」「甘酒」等のイラストを描いて貝に見立て、神経衰弱のようにしました。皆様、口頭や指で紙に書いてある番号を伝えてくださり、とても盛り上がりました。ホワイトデークイズでは、「飴」には「好き」、「マカロン」は「特別な人」……というように、渡すお菓子によって大分意味が変わってくるのだと知り、驚かれた様子の方もいらっしゃいました。

また、月末には園庭に桜が咲き誇り、見上げてうっとりとする皆様の姿が印象的でした。外出ができない中の癒しの時間となったようです。(記：萩原み)



ひなかさ  
お雛飾り



さくらかんしょうかい  
桜鑑賞会

ひのしちようせんきよ  
日野市長選挙

4月に日野市長選挙がありました。日野療護園の利用者には園内にて不在者投票という形で参加していただきました。皆さん一票一票の重みをかみしめながら熟考し、投票していました。



へん 編 集 後 記

新型コロナウイルス感染症は落ち着きをみせず大変な日々ですが、感染症対策をしっかりと行いつつ、気温の浮き沈みも激しいので、体調に気をつけて過ごしていきましょう。